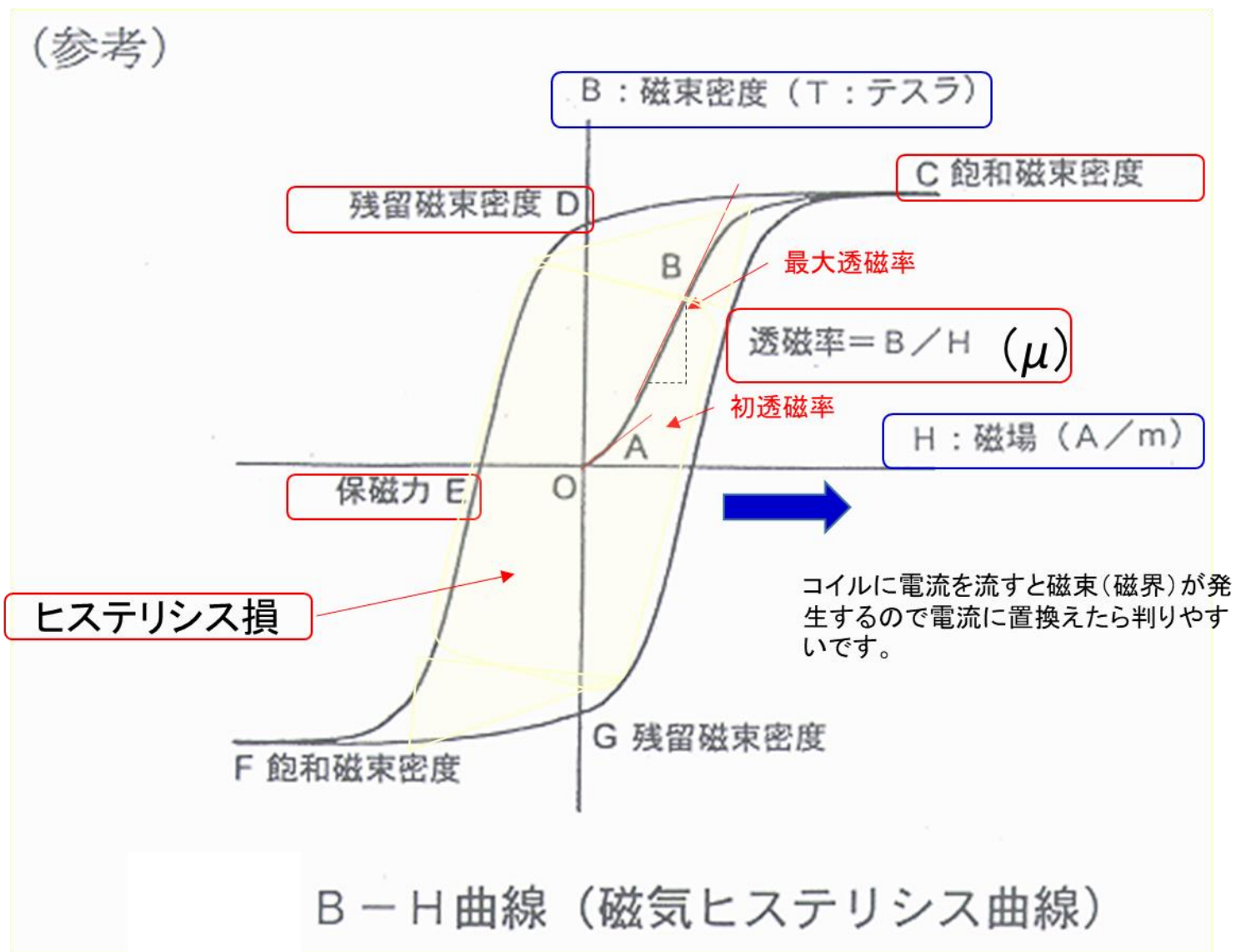


## 図2 (参考資料:コアのBHカーブ解説)

《磁性材料の磁気ヒステリシス曲線は磁性材の特性を表しています。商品別に重要な特性が違うので理解が必要です》



### C:飽和磁束密度

大きいほどコアの特性が大きな磁場に対応が出来ます。飽和磁束密度を超えて使用すると一気にコア特性が悪化します。

- ・コイルのインダクタンスが低下する
- ・飽和電流が増加して発熱する 等

### D:残留磁束密度

磁界がゼロになった時にコアに残留している磁束で、大きいと極性が変わった際に磁化する電流が大きく流れるので、小さい方が良い

### E:保磁力

磁束が界がゼロになった時にコアに残留している磁化力で、保持力が大きいと言う事はコアのロスが大きいと言う事になる。

### F:ヒステリシス損

ヒステリシス曲線の面積がコアロスのヒステリシス損となる。大きいほどコアのロスが大きくなる。

磁場(磁界)の強さHと磁束密度Bとの間の関係を $B = \mu H$ で表した時の比例定数 $\mu$ を透磁率と言い、高いほど磁束を多く通す事が出来る⇒高いインダクタンスにする事が出来る。